令和 7 年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」

地域中小企業と連携による IT 担当者育成・採用促進モデル開発と普及推進事業

高校生向け PBL 体験講座
関連団体・企業向けアンケート調査報告書

2026 年 1 月

学校法人 YIC 学院

1. 調査概要

・講座テーマ：RESAS を活用した「観光業界の抱える問題」探究

・実施日：2025 年 12 月 6 日（土）、12 月 13 日（土）

・調査対象：協力企業5社

一般財団法人山口観光コンベンション協会、観光協会、A 社、B 社、C 社

※先方希望により A～C 社としている

・目的：地域中小企業と連携した IT 担当者育成・採用促進モデル開発に向け、PBL 体験実証の教育的効果と企業側のニーズを検証する

2. 講座満足度および企画評価

協力企業による本講座全体の満足度および運営に関する評価は以下の通りである。

・PBL 体験講座全体の満足度：4 点（5 点満点）＝80%

・講座の企画・運営（時間配分等）：5 点（5 点満点）＝100%

・参画にあたっての負担感：適切

企画・運営面では最高評価を得ており、専門学校が主導する産学連携の枠組みが企業にとっても受け入れやすい体制であったことが示された。

【アンケート結果をもとに考察】



3. 教育的効果と採用・連携への意識

高校生がデータ（RESAS）を活用して課題解決に挑む姿に対し、企業側は高い将来性を感じている。

・ 高校生の将来性への評価：課題解決に挑む姿に「可能性を感じた」

・ 地域産業の魅力発信への有効性：「非常に思う」

・ 将来の IT 担当者としての採用意欲：「是非採用したい」

・ 今後の継続的な協力意欲：「積極的に参加したい」

今回の取組を通じて、企業側は**「高校生が地元企業や地域産業の魅力を知る機会」として本講座が非常に有効である**と認識している。また、IT スキルを持つ人材への需要は高く、将来の採用直結に向けた期待も大きい。

4. 自由記述意見および改善点

協力企業からのフィードバックに基づき、今後の課題を以下にまとめる。

・ 学生の主体性向上：入学前の学生ということもあり、まだ課題を「自分ごと」として落とし込めていない面が見受けられた。

・ 継続的な関係構築：単発の講座に留まらず、継続的に地域企業と学生が関わりを持つ仕組みづくりが重要である。

5. まとめと今後の展望

本調査により、企業側は PBL 講座の教育的価値と地域理解の促進効果を高く評価していることが確認された。特に、深刻な人手不足に直面している観光業界において、IT の力（DX）で課題を解決できる人材への期待は極めて高い。

今後は、学生がより主体的に取り組めるよう「企業が抱える具体的かつ実務的なお題（ニーズ）」の提供をさらに深め、2026 年 4 月からの本格的なカリキュラム展開や高校への出張講座へと繋げていく。

令和 7 年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」
地域中小企業と連携による IT 担当者育成・採用促進モデル開発と普及
推進事業

高校生向け PBL 体験講座　関連団体・企業向けアンケート調査報告書

学校法人YIC学院
〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町 2 番 24 号
●本書の内容を無断で転記、掲載することは禁じます。